

授業概要

地誌学は地域的性格を明らかにして、他の地域と比較することによりその地域的差異を明らかにしていく学問である。地誌学の研究においては、地域のことを詳細に記述していくことが重要となる。

授業ではまず地理学と地誌学の関係性、地域の見方について講義する。続いて日本の領土・領海、さまざまな日本の地方区分、関東地方と首都圏、関東平野の自然環境、江戸から東京、埼玉県の発達に関する講義を行う。地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めていきたい。

授業計画

第1回	授業ガイダンス
第2回	地理学と地誌学（地誌学的な見方とは）
第3回	日本の領域（領土・領海・領空）
第4回	日本の地方区分1（現在の地方区分）
第5回	日本の地方区分2（昔の地方区分）
第6回	日本の地方区分3（東西南北日本）
第7回	日本の地方区分4（道州制とは）
第8回	確認テスト（前半の確認と補足）
第9回	関東地方と首都圏の広がり（首都圏の範囲）
第10回	関東平野の自然環境（台地と低地）
第11回	江戸から東京へ（行政区画の変遷）
第12回	埼玉県とさいたま市（地域区分と中心地）
第13回	湘南の範囲とイメージ（湘南とはどこか）
第14回	「上毛かるた」からみた群馬県（群馬県の地域性）
第15回	まとめ（授業のまとめと補足説明）
第16回	期末試験

到達目標

地理学的・地誌学的な見方・考え方を学ぶとともに、一般常識としての「地理」の知識や教養を身に付けることを目的とする。また、地図を正しく読むことができるようになり、地域のことを正しく理解できるような素養を身に付ける。

履修上の注意

授業は講義を中心となるが、作業も行う。履修者の人数により、内容を変更する場合がある。当然ながら、授業中の私語や私事は禁止である。

地図帳を持参すること（二宮書店もしくは帝国書院が望ましい）。

予習・復習

日常的に新聞やニュースなどにより、地域の出来事に関心を払って欲しい。知らない地名や聞いたことの無い地名があった場合には、地図帳で確認すること。

評価方法

定期試験（持込不可）：70%

平常点（リアクションペーパー・受講態度等）：30%

テキスト

プリントを配布する。